



Corporate Profile



40th Anniversary

おかげさまで40年

地域に根差した街づくりを通じて

おかげさまでタクトホームは設立40周年を迎えました。

これからもより良い街づくりと

そこに暮らす人々のよろこびを支える

総合不動産ディベロッパーとして

これまでにない価値を創造していきます。

Contents

ヒストリー	03
代表挨拶	04
経営理念	05
経営方針／行動指針	06
事業紹介	07
SDGs	15
会社概要	17

HISTORY

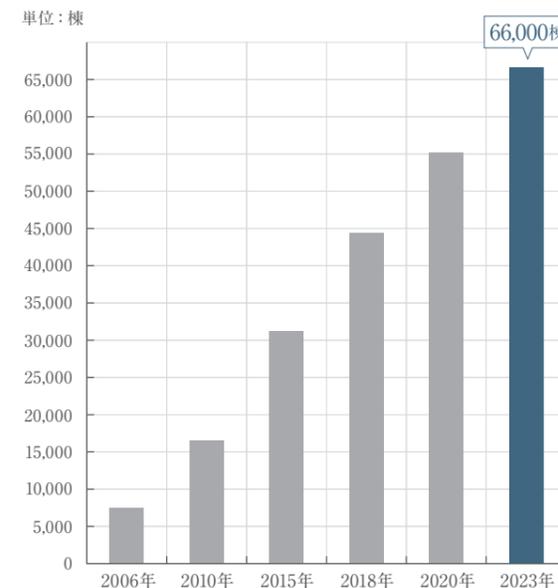
ヒストリー

創業から40年を迎え、新たな出発へ。
持続可能な発展で次世代へつなぐ、総合住宅企業の軌跡。

- 1982年 タクトホーム創業
- 1984年 4月 タクトホーム設立
- 1997年 12月 東京都保谷市に本社移転(現西東京市)
- 1998年 7月 山本重穂が代表取締役社長に就任
- 1999年 10月 神奈川エリア初出店(溝口店)
- 2000年 3月 埼玉エリア初出店(浦和店)
- 2001年 5月 千葉エリア初出店(松戸店)
- 2003年 8月 ジャスダックに株式上場
- 2004年 6月 東海エリア初出店(名古屋店)
- 2007年 6月 東北エリア初出店(仙台南店)
- 11月 東京証券取引所第一部に株式上場
- 2008年 8月 本社を現所在地に移転
- 2010年 6月 子会社の株式会社ソリド・ワン、ティーアラウンド株式会社を設立
- 8月 山本重穂 代表取締役会長に就任(現在)
小寺一裕 代表取締役社長に就任(現在)
東京証券取引所上場廃止
グループ6社との共同株式移転により
飯田グループホールディングス株式会社を設立、その後完全子会社となる
- 2011年 2月 近畿エリア初出店(大阪店)
- 2013年 9月 北海道エリア初出店(札幌店)
- 2014年 3月 中国エリア初出店(岡山店)
北関東エリア初出店(宇都宮店)
- 2016年 12月 北陸エリア初出店(新潟店)
- 2017年 5月 九州エリア初出店(福岡店)
- 6月 沖縄エリア初出店(沖縄店)
- 2019年 6月 フィリピン現地法人の
タクトホームグローバルデザイン株式会社を設立
- 11月 四国エリア初出店(高知店)
- 12月 フィリピン現地法人のタクトホームフィリピン株式会社を設立
- 2020年 9月 インドネシア現地法人のタクトホームインドネシア株式会社を設立
- 2023年 10月 株式会社ファーストライトと経営統合(子会社化)



グラフアール供給戸数の累計推移



TOP MESSAGE

ご挨拶



志を受け継ぎ、さらなる成長を目指して。

1982年に創業、1984年の設立以来、タクトホームは高品質でありながらリーズナブルな価格の住宅を提供することで多くのお客さまからのご支持をいただき、着実な成長を続けてまいりました。

それは「住宅は高い買い物」というイメージを払拭し、若いご夫婦や初めてマイホームを検討しているご家族が、高品質な住まいを無理なくご購入することができるようにという理念を実現すべく、全社員が一丸となって新しい技術の開発やコストダウンの努力に邁進してきた歴史でもあります。

今後はさらに「マイホームを手に入れることができた喜び」と、「やすらぎの住まいに永く暮らせるしあわせ」をより多くのお客さまに実感していただくべく、一邸一邸に想いを込めたサービスの充実を図っていきたくと考えております。

たくさんの住宅を機械的に設計するのではなく、立地や周辺環境に合わせて個性を持たせたデザインを施し、そのコンセプトやストーリーをお客さまと共有し、「喜び」を「感動」にまで昇華させるような開発と販売を心がけること。

そして、お引き渡しから始まる新居での生活をいつまでも充実した日々にするべく、細やかな対応でお客さまのご要望に応えるアフターサービスを実現すること。

このような、住まいという空間を通じて私たちがお客さまに貢献できることは、まだまだたくさんあると感じています。

タクトホームはこれまでの実績と現状に満足することなく、住宅マーケットにおけるニーズを敏感に読み取りながら、住まいに関するすべてのご要望に高いレベルで応える自社一貫サービスを追求していきます。

創業より40年を迎え、これまで皆様を支えていただいた感謝と誇りを胸に、一層の努力と成長により、お客様のより良い生活への貢献と地域社会の発展に寄与したいと考えております。

代表取締役社長 **小寺 一裕**

PHILOSOPHY 経営理念

誰もが当たり前前に家を持ち、
より多くの家族が末永く幸せに暮らせる
安心安全な住空間を創造し、
豊かな社会作りに貢献する。

誰もが当たり前前に家を持てる、そんな社会にするために、
そして、持続可能な未来の創造のために、
私たちタクトホームグループは、顧客ニーズ・社会的ニーズにお応えし、
一層の満足度をあげるべく、より良質で低廉な住宅を提供し続けます。



タクトホーム株式会社
代表取締役会長

山本 重徳

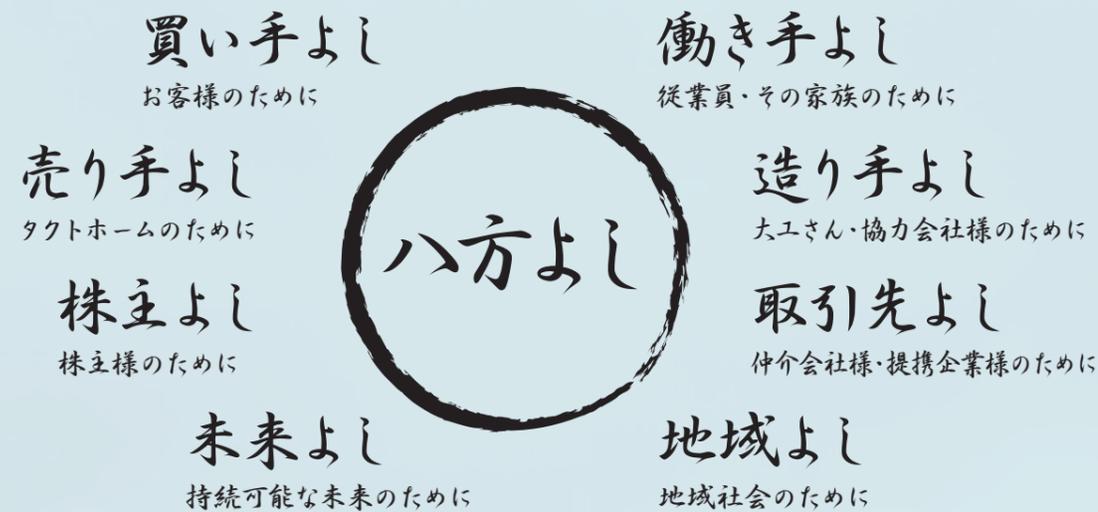
従業員第一主義

経営理念、経営方針、行動指針に基づき、
また、タクトホームとしては、従業員の声を大切に考える
「従業員第一主義」を掲げています。

従業員が心身ともに良好でなければ、良いサービスや、より良い商品を作る
事はできないと考えます。

そのために、従業員自らが主体的に、会社全体として業務改善改革を行い、
仕事しやすい環境作りを目指します。その結果、従業員の成長を促し心身
ともに良好になり、心にゆとりを持てる事で、お客様に対してしっかりと
真のサービスを提供ができる「お客様第一主義」に繋がるようになっていける
ように、今後とも総合住宅企業として、努力を重ねて参ります。

経営方針 MANAGEMENT GUIDELINES



「事業を通じて関わる全ての方々」を幸せにしていくために、
また、地域社会・地球環境をさまざまな形で貢献していきながら、
四方八方あらゆる側面からの「八方よし」の精神を志し、
「応援してもらえる企業」を目指して参ります。

行動指針 BEHAVIORAL GUIDELINES

より良いものを、より安く、より早く

- 一、私たちは、より良い住宅を提供するために、商品企画を率先して考え、改善し続けます。
- 一、私たちは、より安く住宅を提供するために、原価管理を率先して考え、改善し続けます。
- 一、私たちは、より早く住宅を提供するために、業務効率を率先して考え、改善し続けます。

私たちは、失敗を恐れずに事業を自らが率先して考え、改善し続け、仲間とともに
思いやりと感謝の心を持って明るい職場環境を作り、互いに成長し続けるものとします。

様々な業務に関して、「徹底的な無駄の排除」をして、生産性を向上させるための「業務効率化」を、誰かがやってくれるからという
傍観者ではなく、従業員自らが当事者となって、問題提起をして、失敗を恐れずに改善改革を続けてほしいという事と、その上で、
仲間とともに現状に満足せずに、互いに成長し続けてほしいという願いが込められています。

BUSINESS 事業紹介

街と住まい、
そこに暮らす人々を
幸せに。

時代と共に進化する“住まい”の在り方を追求し、
より多くの人々の暮らしをもっと良いものにしていきたい。
私たちタクトホームでは、総合不動産デベロッパーとして、
グループの強みと各事業の専門性に特化したサービスを
世界で展開しています。

グローバル領域
Global



人生100年の時代に 求められること

人生100年時代においては、“70年住み続けられる住宅”が求められることになります。人生の大半を共に過ごす住宅だからこそ、住宅を購入する際は、立地や値段、間取りに加えて、“住宅の基本品質”が大切であると私たちは考えます。飯田グループは100年という長い年月がより充実したものとなるよう、安心して長く暮らし続けられる住宅を提供していきます。

シェアNo.1*だからできること

建築資材の一括仕入や、自社工場での木材加工による徹底した品質管理など、私たちが高品質でリーズナブルな商品・サービスを提供できるのは、スケールメリットを最大限に活かしているからです。また、土地の仕入は全国の営業拠点をベースに地域に根付いたネットワークを築いており、お客様のご要望に合った最適な場所をいつでもご提案できるような体制を整えています。

人も。街も。住まいも。 持続可能に発展できる未来を目指して。

私たちタクトホームでは、日本一*の分譲メーカーグループの一翼を担う総合不動産デベロッパーとして、住宅の開発を基盤とし、総合建設、不動産売買、管理・メンテナンス、それらの業務に携わる人材の育成から、海外での展開まで、多角的に事業化しています。

それぞれが持つポテンシャルをグループ全体で共有・最適化することにより、オンリーワンの価値を地域社会にお届けしています。今後ますます複雑化する社会においても持続的に成長できる体制を整え、時代の変化に寄り添う街づくり、住まいづくりをカタチにしていきます。

*飯田グループの分譲戸建住宅市場におけるシェア（2020年4月1日～2021年3月31日 住宅産業研究所調べ）

BUSINESS 事業紹介



戸建住宅分譲事業

魅力的な暮らしを叶える、
グラファールブランド。

タクトホームの分譲ブランド・グラファールシリーズは「地震に強い頑丈な家」、「7項目最高等級となる高性能な住宅」を保ちつつ、「注文住宅のようなデザイン性」にも優れた高品質の戸建分譲ブランドです。地域と共に街づくりをテーマにかかげ40年。累計50,000棟超の分譲実績。その街やご家族ごとに異なる住まいへの夢や理想を追い求めタクトホームがお届けするブランド「グラファール」は“家族のいいな”をカタチにする、お客様だけの暮らしをご提案いたします。



マンション分譲事業



人々の豊かな営みを彩る、
毎日の暮らしが誇りとなる住まい。

利便性豊かな都市型マンションや、人気エリアのプロジェクトなど、マンション分譲を通してファミリーからシニアまでさまざまな世帯にフィットする暮らしの形を提供しています。構造や施工への安心をベースに、戸建分譲で培ってきた住まいへのニーズとノウハウを応用。

マンションならではの共用スペースやデザインも工夫し、住む人の毎日が豊かになる集合住宅を生み出しています。



注文住宅事業



その1棟に惜しみなく注ぐ
住宅建築のノウハウ。

家へのこだわりや生活スタイルなど多様なニーズに応える自由度の高い設計が魅力の注文住宅。災害に強く頑丈な工法をはじめ、完成まで責任を持ったグループ一貫体制で安心安全を最重要としながらも、素材や設備などデザイン性の高い住まいを実現。

資材調達システムや施工実績を効率的に活用し、省エネルギー住宅にすることで、コストを抑えた注文住宅を可能にしました。



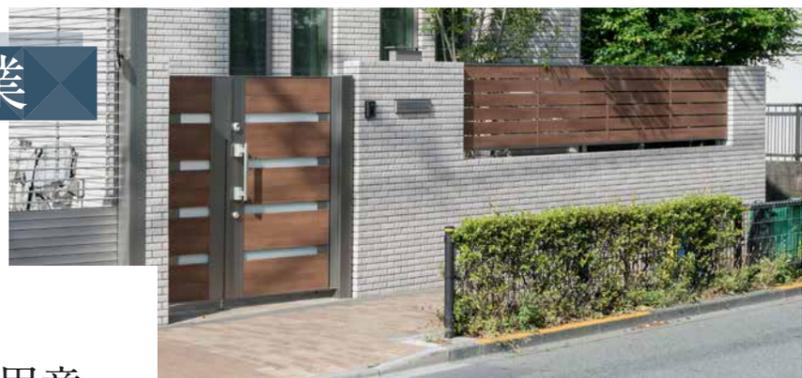
BUSINESS 事業紹介

住宅オプション事業

飯田グループホールディングス
すまい-だ
株式会社ファーストライフ

お客様のご要望に応える
多彩な住宅オプションをご用意。

タクトホームでは住宅のご契約時に、お客様の多様なご要望にお応えできるよう、住宅設備や照明器具、外構など、多彩な住宅オプションをご紹介、施工できる部門を有しています。
標準仕様だけでは叶えられないお客様ごとのこだわりやバリエーション豊富な選択肢を、コストを抑えながら実現できます。



リフォーム事業

飯田グループホールディングス
すまい-だ
ティーアラウンド株式会社

住んでからも、
安心・安全・快適に。

風雨や日光等による外壁や屋根の経年劣化のメンテナンス、水廻りの改修、家族構成の変化による間取りの変更など、住み続けることで発生する屋内外のリフォームを専門に扱います。
新しい暮らし方を提案するコーディネーターとして、また施工後のアフターサービスに至るまで、大切な住まいでの快適な暮らしをサポートします。



アフターサポート事業

オーナーサポート

日常の安心を当たり前。
建物の安全を支えるサポート事業。

どんなに高性能な建物でも、お住まいになってからの適切なメンテナンスは欠かせません。タクトホームではお客様にいつまでも安心して暮らしていただけるよう、建物の性能を常に正しい状態に保つメンテナンスに特化したアフターサポート事業を展開しています。お引渡し後の定期的な点検の実施や、お客様からの「困った!」にすぐに対応できる体制を整えています。良い住まいを、最適な状態でご利用いただけるアフターサポートにご期待ください。



既存住宅販売事業

新しいすまいのかたち
グラファールレの
認定再生住宅

お客様への価値を最大化する
総合不動産の底力。

不動産の「売りたい」と「買いたい」を、住まいのスペシャリストとしてタクトホームが繋ぎます。自社リフォームを前提とし、適正価格で物件を買い取るのでスピーディーな売却が可能。
物件の特徴を活かしながらデザイン性のある修繕・改築を施し、不動産の価値を最大限に引き出した上で必要な方へマッチングします。目に見えない部分も徹底した調査を施し、買った後も安心の住まいをお届けしています。



BUSINESS 事業紹介

不動産流通

ソリューション事業

お客様の資産価値を守り、
高めるトータルサービス。

多くの住宅開発で高めてきた住まいに関する技術やノウハウを賃貸住宅にも
応用。立地の特徴を捉え、時代と共に移りゆく入居者のニーズを反映させた建物
や設備仕様で、魅力ある賃貸住宅を提供しています。不動産の持つ資産価値
を磨き出し、収益性の高い安心の賃貸住宅経営をサポートします。



技術者育成事業

良い建物をつくるには
良い人材の育成が欠かせません。

技術者の人手不足が深刻化している住宅産業の課題に対し、タクトホームでは
住まいの施工を手掛ける人材の育成を本格的に事業化しています。最新の
施設に未経験者を対象にした研修・実習カリキュラムにより、建築・施工の知識・
技術を基礎から学び、体得していきます。従来属人的になりがちだった職人の
技術を安定化させています。また、育成した人材は社員大工や独立職人として
安定した雇用の創出にも貢献しています。



土木・造成事業

飯田グループホールディングス
住まい-だ
株式会社ソリド・ワン

良い住まいには、
良い土台が欠かせません。

人々の生活の基盤を作り、街づくりに貢献する宅地造成。宅地、その周辺の道路
や公園、給排水設備の整備で、住む人々の豊かな生活環境を整えます。
入念な地盤調査や改良工事に基づいて、その地盤に応じた設計・施工を提案
し、安心安全な住環境を提供していきます。



海外事業

TACT HOME GLOBAL DESIGN CORPORATION TACT HOME INDONESIA

住まいと暮らしへの想いは、
さらに広がり続ける。



世界に向けての事業も積極的に展開しています。
インドネシアのジャカルタにて不動産事業、フィリピンのマニラにて
不動産事業、建築CAD設計事業を行なっております。
日本クオリティの住宅を海外へ、より良い暮らしの実現に向け、
住宅品質の向上と経済発展に貢献出来るよう努めています。

SDGs SDGsへの取り組み

持続可能な発展を目指して

住まいから、未来を変える。

人生100年時代、持続可能な社会の創造へ
 私たちタクトホームはより多くの人々が
 長く安心して豊かに暮らせる住環境を実現できるよう、
 住まいづくりを通じ、様々な社会課題に取り組んでいます。

Point 01 サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進委員会

取締役会による監督のもと、タクトホームグループにおけるサステナビリティへの取り組みに関する推進機関とし、関連する方針や目標の進捗管理・施策の審議等を担っております。



Point 02 ずっと住み続けられる

全棟ZEH水準の住まいづくり

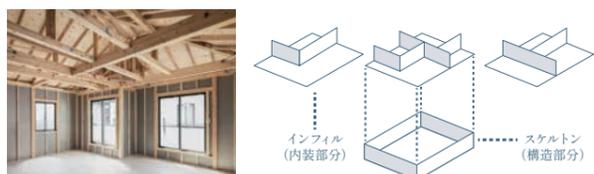
次世代の家づくりをカタチにするグラファールの建物性能は、基本性能に加え、断熱性能と省エネ性能を高め全棟ZEH水準としています。従来のグラファールに「健康・快適性」「経済メリット」「サステナビリティ」「レジリエンス」が加わり、家族と未来を豊かに彩ります。



断熱玄関ドア 高断熱壁パネル 高断熱窓

“地震に強い家”オリジナル工法「I.D.S.I工法」

木造軸組工法の設計自由度と、構造用合板パネル工法の耐震性の高さを併せ持った工法です。住宅性能表示制度に対応し、耐震等級をはじめとした主要7項目で最高等級を取得しています。徹底した工場生産の導入により、職人の技量に左右されない均質な住宅の提供を可能にします。また、現場作業の省略による大幅な工期短縮・材木ロスの低減を実現し、環境負荷を抑えます。



優れた耐久性と、設計の“自由度”

I.D.S.I工法は、自由な間取りを実現するSI(スケルトンインフィル)住宅にも対応し、ライフスタイルの変化に合わせて間取りの変更や設備メンテナンスが簡単にできます。



Point 03 みんなによりよく働ける環境とチャンス



従業員が安心して働ける環境を

従業員それぞれがライフスタイルに応じて活躍できるよう、働き方を支援する制度を整えプライベートとの両立をサポート。また、社内研修制度など導入しています。その他、建築業界においては大工職人の減少に伴い、積極的な職人の育成にも取り組み、外国人実習生など、あらゆる面で働きがいのある環境を目指しています。



Point 04 環境と共に持続成長



CO2排出のない事業所づくり

自社保有建物への太陽光パネルの設置を推進している他、EV車両導入の促進を目的とし、EV充電器の設置も行っております。また、非化石証書付電力契約に積極的に切替を進めており、再エネ由来の電力利用によって、CO2排出実質0を目指しています。

自社ビルへの太陽光パネル設置
 電力契約を非化石証書付契約に切り替え



SDGs推進の拠点として

社内の文書管理を主業務として運用していたタクトホーム書庫は、それまでの業務の他、SDGsへの取り組みやサステナブルな未来を支える新たなオフィスとして、業務効率化や働き方など、新しい企業と仕事の在り方を積極的に発信しています。



Point 05 世界と共に歩む



フィリピンCADセンター

80名を超える現地スタッフの雇用から育成まで、フィリピン経済の発展と共に事業成長を目指します。図面作成の他、3Dパースや性能評価申請等、多くの業務でタクトホームの家づくりを支えています。



ボランティア活動

マニラ市を拠点に活動する「BRIDGE BUILDER FOUNDATION」への寄付を通じ、主に助けを必要とする子供達への支援活動を行います。

BRIDGE BUILDER FOUNDATIONへ洗濯機、米、缶詰等の食料を寄付し、周辺の恵まれない子供達へも150セットの食料を配りました。この活動は継続して行い、企業としての社会貢献する事で国際社会との調和を目指します。



外国人技能実習生

外国人技能実習制度の趣旨(我が国が先進国としての役割を果たしつつ国際社会との調和ある発展を図っていくため、技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力すること)に則り、木造住宅建築の技術等の移転に貢献。



TACTHOME



飯田グループホールディングス
すまい-だ



タクトホーム株式会社

<https://www.tacthome.co.jp/>

2024.03